

# 農作物病害虫発生現況情報（9月） 水稻編

## 1 いもち病

(1) 収穫期の巡回調査では、穂いもちの発生圃場率は平年より低かった（図1）。

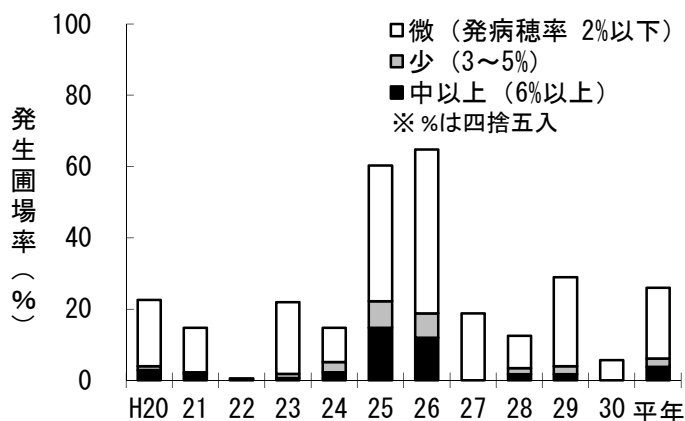


図1 穂いもち発生圃場率の年次推移 (収穫期)

## 2 紋枯病 (疑似紋枯病を含む)

(1) 収穫期の巡回調査における発生圃場率、程度は平年よりやや高かった（図2）。

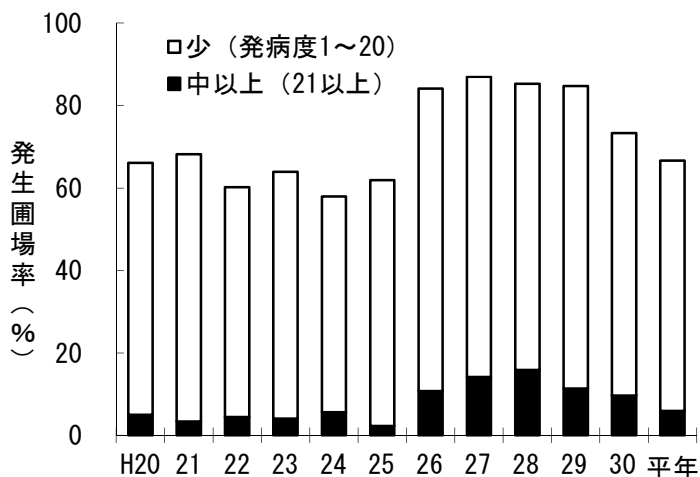


図2 紋枯病発生圃場率の年次推移 (収穫期)

## 3 稲こうじ病

(1) 収穫期の巡回調査における稲こうじ病の発生圃場率は、平年並であった（図3）。

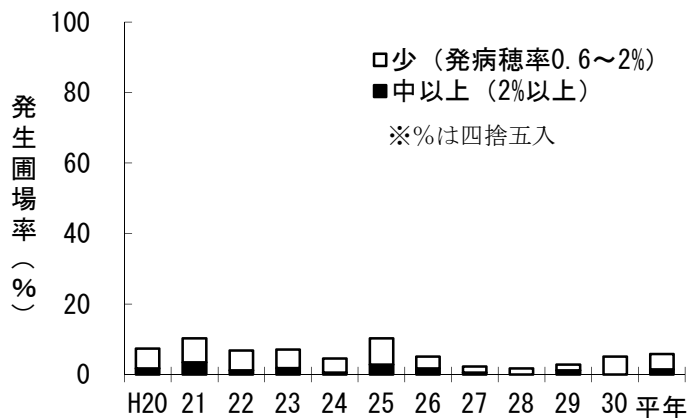


図3 稲こうじ病発生圃場率の年次推移 (収穫期)

#### 4 斑点米カメムシ類

(1) 収穫期の本田内すくい取り調査では、発生圃場率は平年よりやや高かった (図4)。

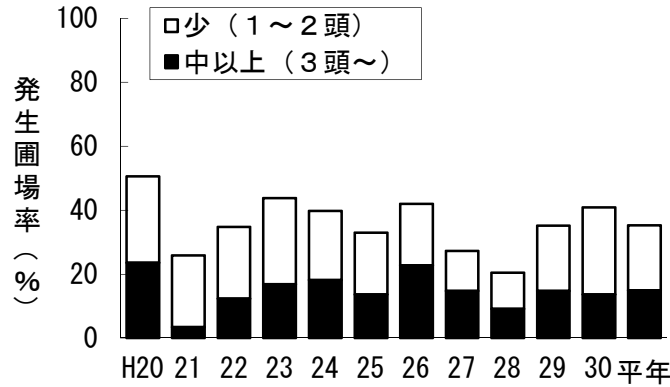


図4 斑点米カメムシ類の発生圃場率の年次推移 (収穫期、本田すくいとり、往復20回振)

#### 5 ウンカ類

(1) 収穫期の本田内すくい取り調査では、セジロウンカの発生圃場率は平年並であり、ヒメトビウンカは平年より高かった (図5)。

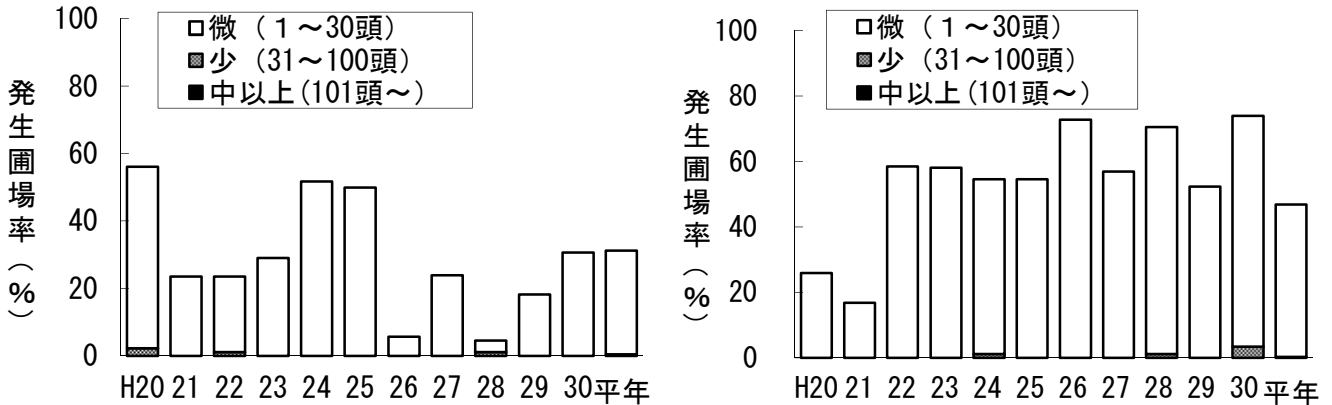


図5 ウンカ類の発生圃場率の年次推移 (左: セジロウンカ、右: ヒメトビウンカ、8月下旬、本田すくい取り、往復20回振)

#### 6 ツマグロヨコバイ

(1) 収穫期の本田内すくい取り調査では、沿岸の1圃場で確認された。

#### 7 イネキモグリバエ (イネカラバエ)

(1) 収穫期の巡回調査では、一部の圃場で被害穂が確認された。

# 農作物病害虫発生現況情報（9月） りんご編

## 1 斑点落葉病

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、ふじは平年よりも高く、王林は平年並であった(図1)。

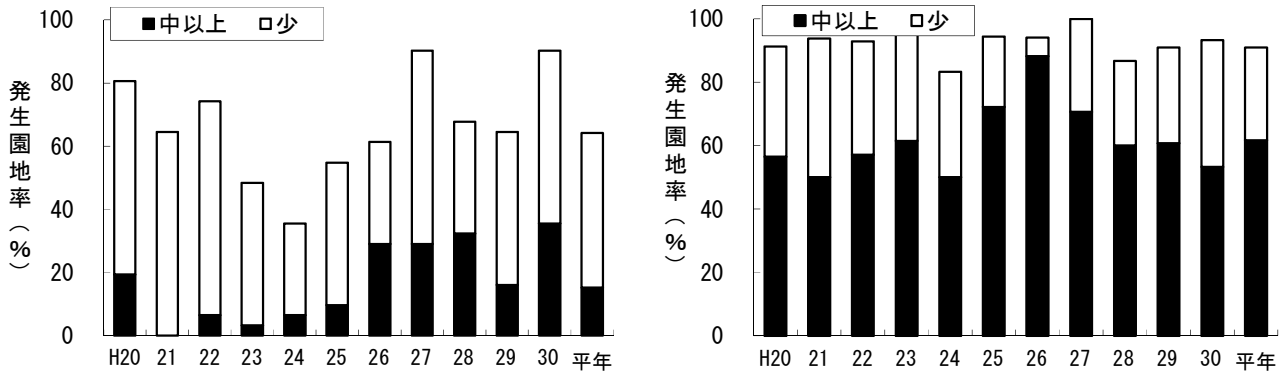


図1 斑点落葉病の発生園地率の推移 (左図 ふじ、右図 王林・9月後半、徒長枝全葉)

## 2 褐斑病

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率および発生程度ともに、平年より高かった(図2)。

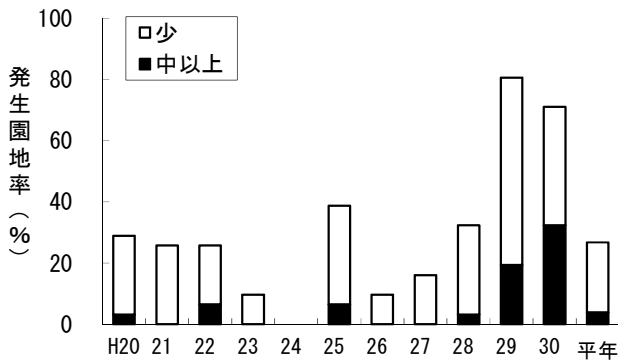


図2 褐斑病の発生園地率の推移 (9月後半)

## 3 黒星病

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、平年より高かった(図3)。

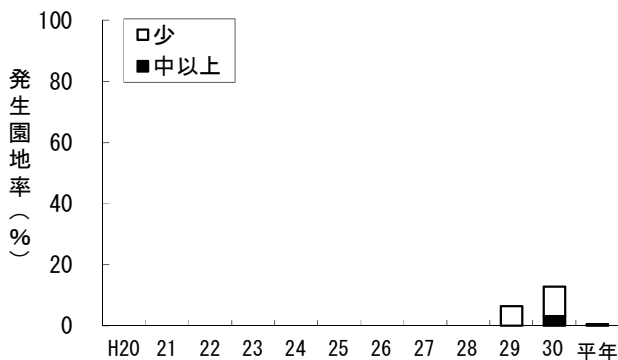


図3 黒星病の発生園地率の推移 (9月後半、葉)

#### 4 果実病害

- (1) 9月後半の巡回調査では、輪紋病の発生園地率は平年並であった(図4)。
- (2) 9月後半の巡回調査では、炭疽病の発生は確認されなかった(図5)。
- (3) 9月後半の巡回調査では、すす点病、すす斑病ともに発生は確認されなかった(図6、図7)。
- (4) 9月後半の巡回調査では、黒点病の発生園地率は平年よりもやや低かった(図8)。
- (5) 9月後半の巡回調査では、黒星病の発生園地率は平年よりも高かった(図9)。

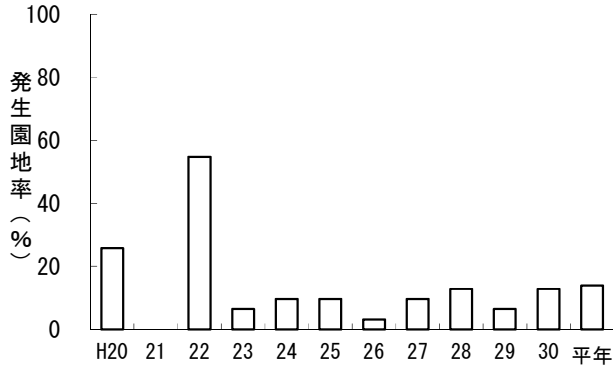


図4 輪紋病の発生園地率の推移 (9月後半)

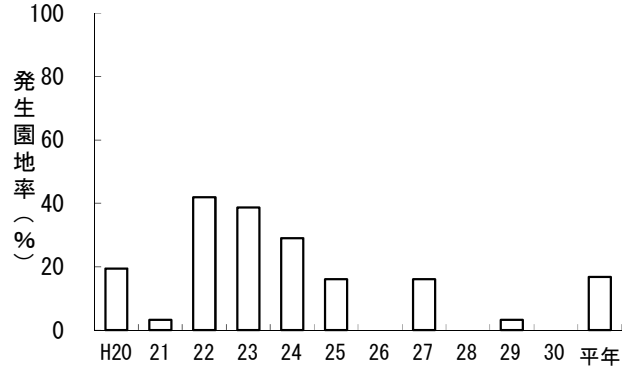


図5 炭疽病の発生園地率の推移 (9月後半)

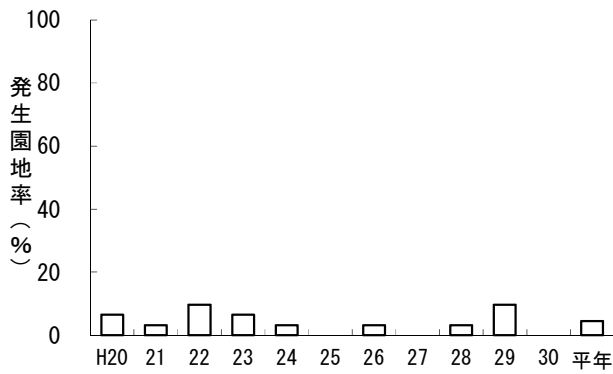


図6 すず点病の発生園地率の推移 (9月後半)

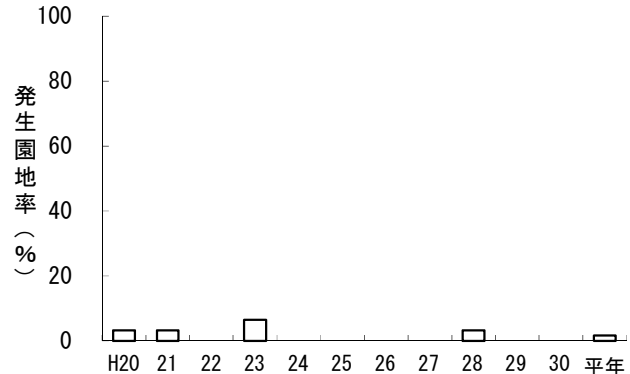


図7 すず斑病の発生園地率の推移 (9月後半)

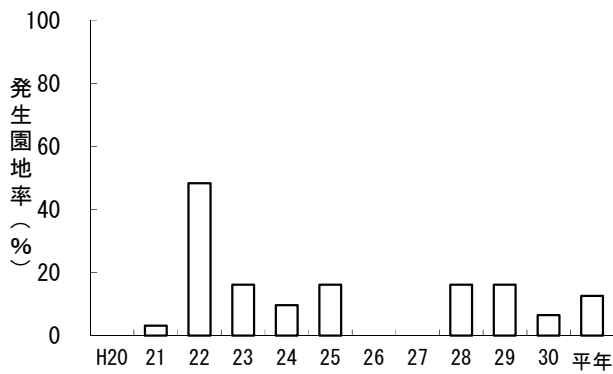


図8 黒点病の発生園地率の推移 (9月後半)

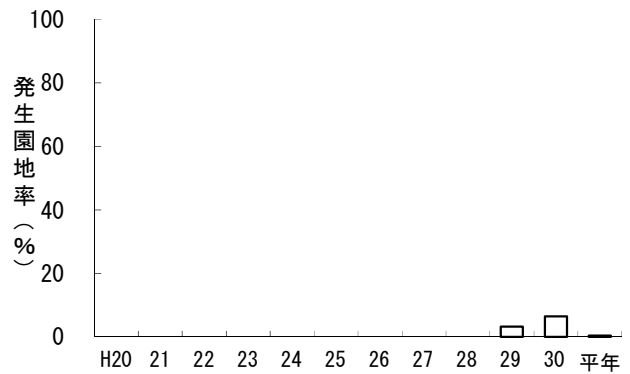


図9 黒星病の発生園地率の推移 (9月後半)

## 5 ハダニ類

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、ナミハダニ、リンゴハダニともに平年よりやや低かった(図10)。

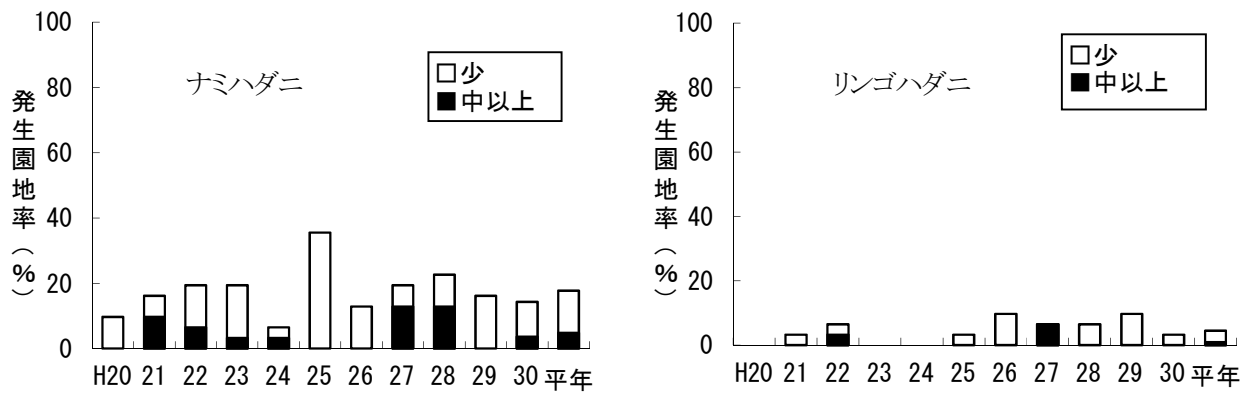


図10 ハダニ類の発生園地率の年次推移(9月後半、目通り)  
(10頭/10樹未満は発生無しの扱い)

## 6 ギンモンハモグリガ

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、平年より低かった(図11)。

## 7 シンクイムシ類

(1) 9月後半の巡回調査での発生園地率は、平年より高かった(図12)。

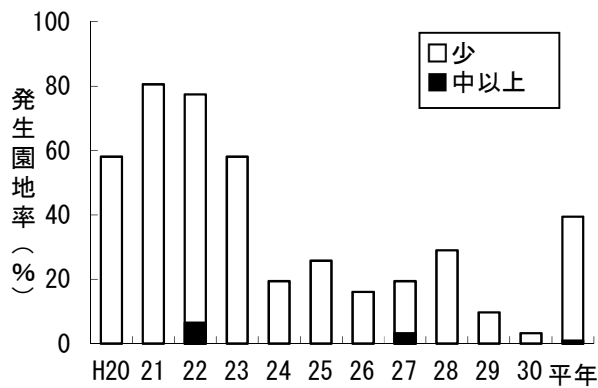


図11 ギンモンハモグリガの発生園地率の年次推移(9月後半)

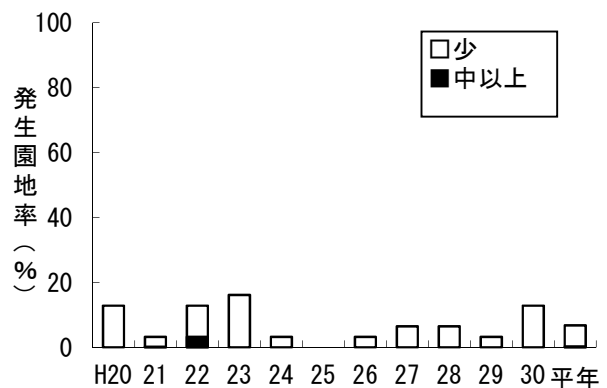


図12 シンクイムシ類による被害果発生園地率の年次推移(9月後半)

## 8 果樹カメムシ類

- (1) 9月後半の巡回調査での被害果の発生園地率は、平年より低かった(図13)。
- (2) クサギカメムシの子察灯への誘殺数は、平年並～平年より少なかった(図14)。
- (3) チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少なかった(図15)。

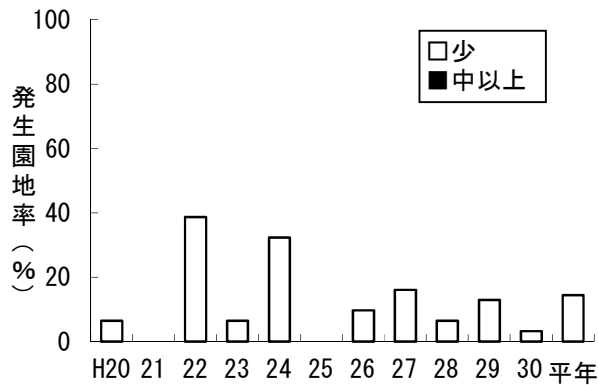


図13 果樹カメムシ類による被害果発生園地率の年次推移(9月後半)

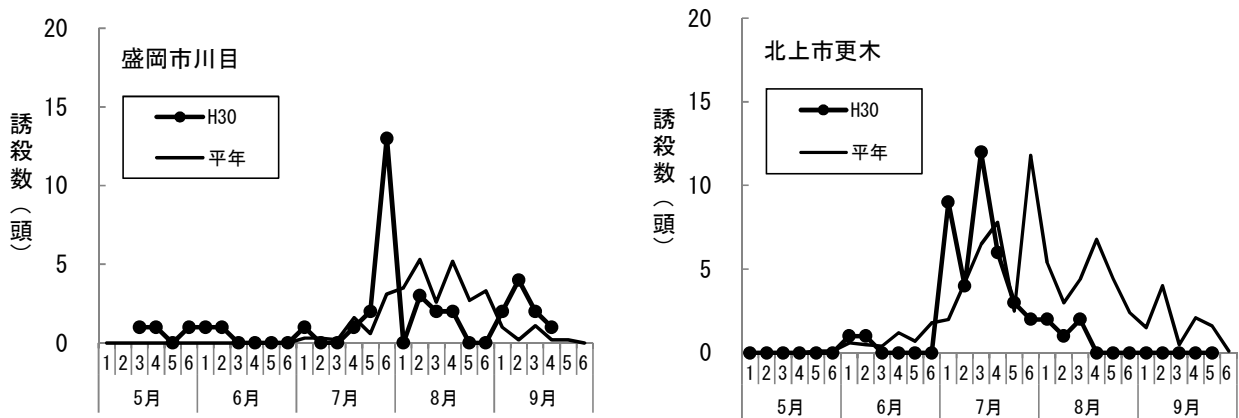


図14 クサギカメムシの子察灯への誘殺状況

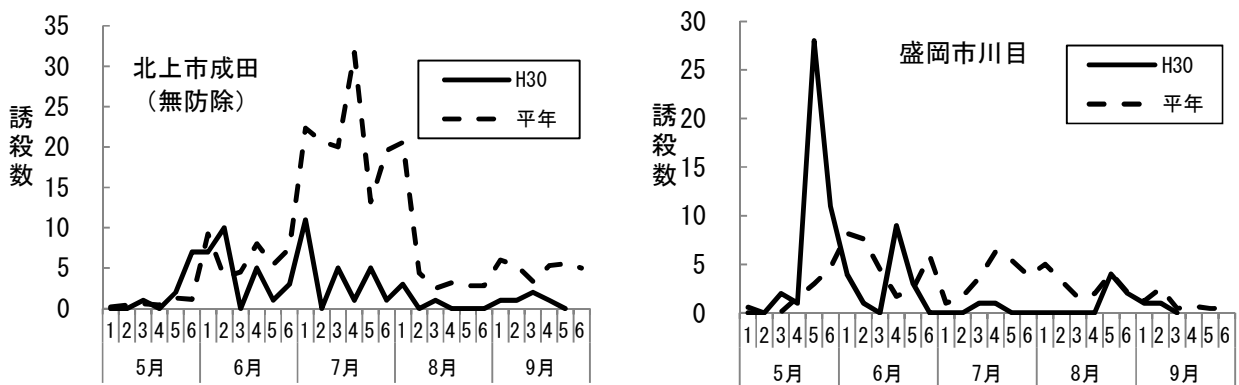


図15 チャバネアオカメムシの集合フェロモントラップへの誘殺状況

# 農作物病害虫発生現況情報（9月）きゅうり編

## 1 ベと病

(1) 9月上旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より低かった（図1）。

## 2 うどんこ病

(1) 9月上旬の巡回調査では、発生圃場率は平年並で、発生程度中以上の圃場は見られなかった（図2）。

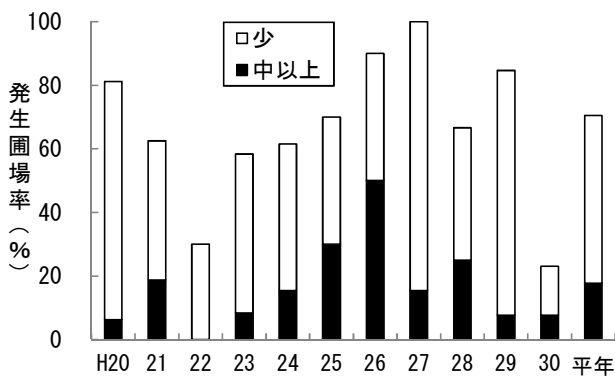


図1 ベと病の発生圃場率の年次推移 (9月上旬)

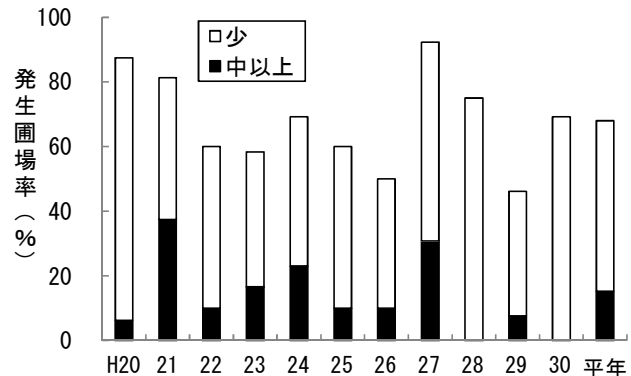


図2 うどんこ病の発生圃場率の年次推移 (9月上旬)

## 3 褐斑病

(1) 9月上旬の巡回調査では、発生圃場率、発生程度とも平年並であった（図3）。

## 4 炭疽病

(1) 9月上旬の巡回調査では、発生圃場率、発生程度とも平年並であった（図4）。

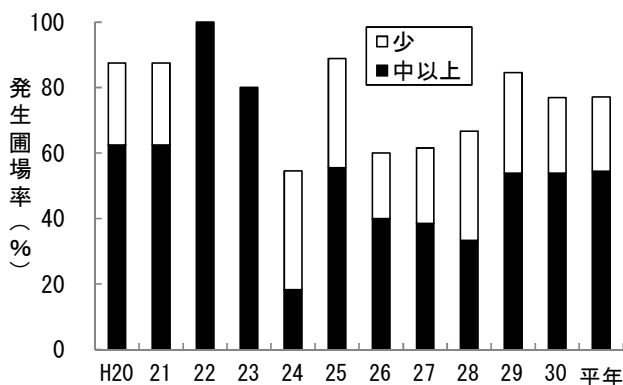


図3 褐斑病の発生圃場率の年次推移 (9月上旬)

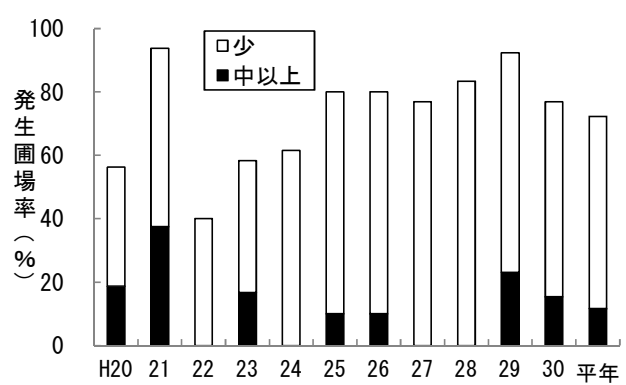


図4 炭疽病の発生圃場率の年次推移 (9月上旬)

## 5 斑点細菌病

(1) 9月上旬の巡回調査では、発生圃場率は平年よりやや高かった（図5）。

## 6 黒星病

(1) 9月上旬の巡回調査では、発生圃場率は平年よりやや高かった（図6）。

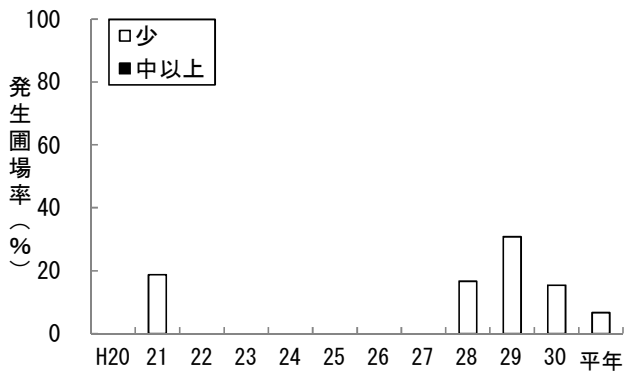


図5 斑点細菌病の発生圃場率の年次推移 (9月上旬)

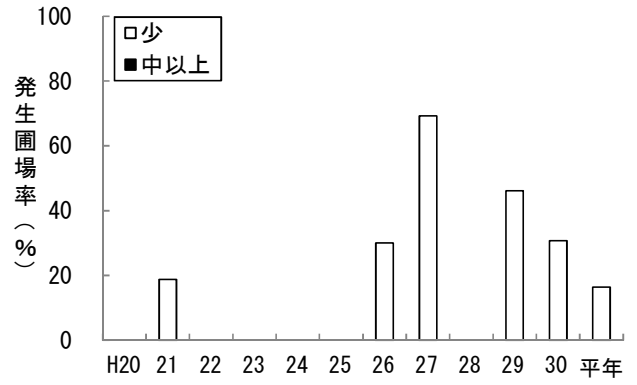


図6 黒星病の発生圃場率の年次推移 (9月上旬)

## 7 ワタアブラムシ

(1) 9月上旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より低かった (図7)。

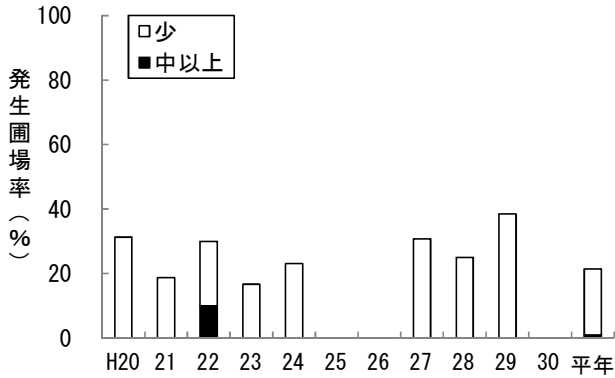


図7 アブラムシ類の発生圃場率の年次推移 (9月上旬)



# 農作物病害虫発生現況情報（9月）キャベツ編

## 1 コナガ

- (1) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は、おおむね例年より少なく推移した（図1）。
- (2) 9月中旬の巡回調査では、幼虫の発生圃場率は平年並であった（図2）。

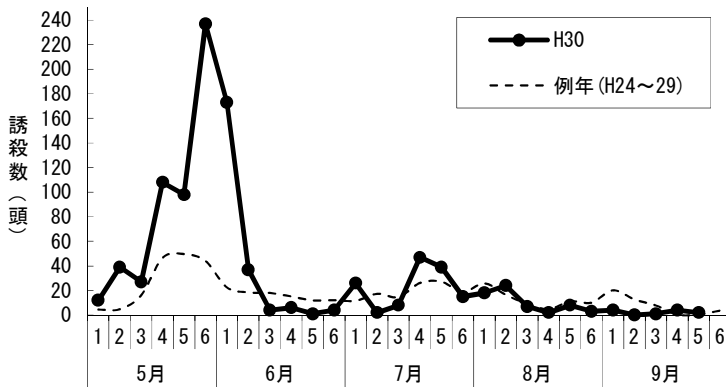


図1 岩手町におけるコナガのフェロモントラップへの誘殺状況

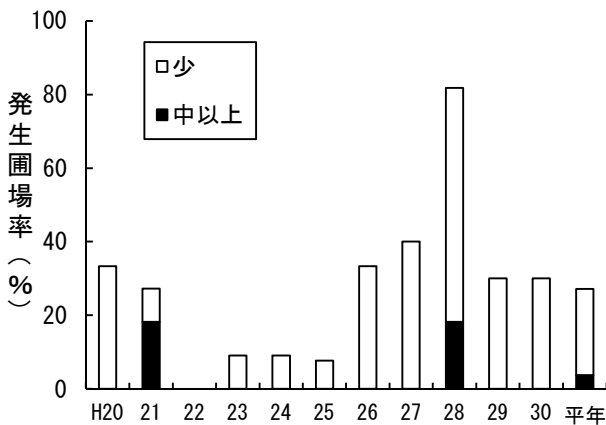


図2 コナガ幼虫発生圃場率の年次推移（9月中旬）

## 2 ヨトウガ

- (1) 9月中旬の巡回調査では、産卵圃場率は平年並であった（図3）。

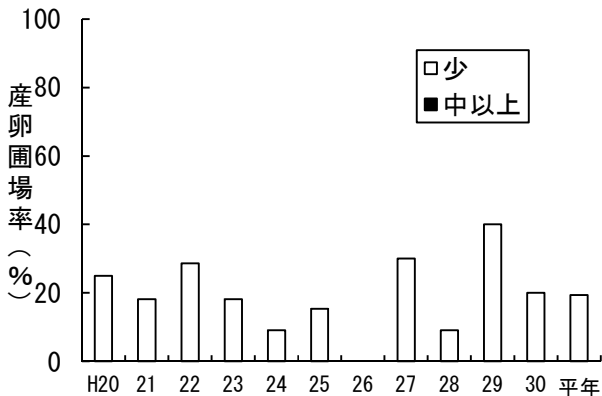


図3 ヨトウガ産卵圃場率の年次推移（9月中旬）

# 農作物病害虫発生現況情報（9月） ねぎ編

## 1 さび病

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率、発生程度とも平年より低かった（図1）。

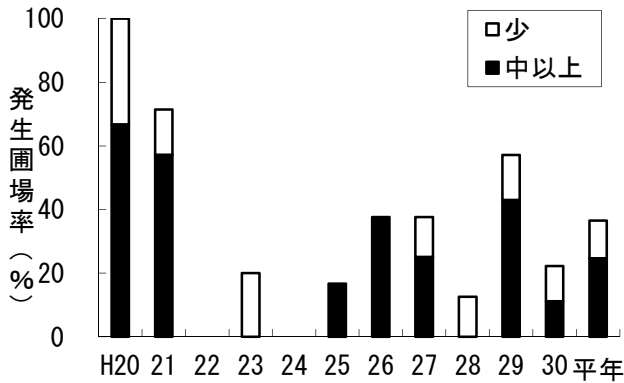


図1 さび病の発生圃場率の年次推移（9月下旬）

## 2 べと病

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生は見られなかった（図2）。

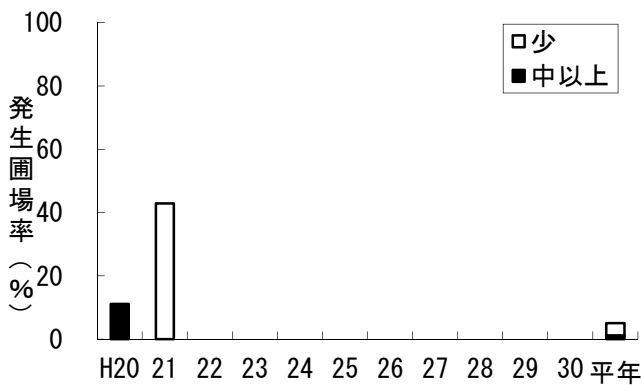


図2 べと病の発生圃場率の年次推移（9月下旬）

## 3 黒斑病、葉枯病

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率、発生程度とも平年よりやや高かった（図3）。

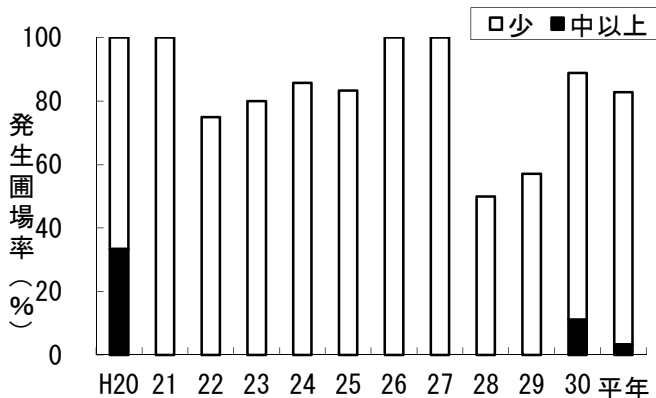


図3 黒斑病、葉枯病の発生圃場率の年次推移（9月下旬）

#### 4 ネギコガ

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率、発生程度とも平年より高かった(図4)。

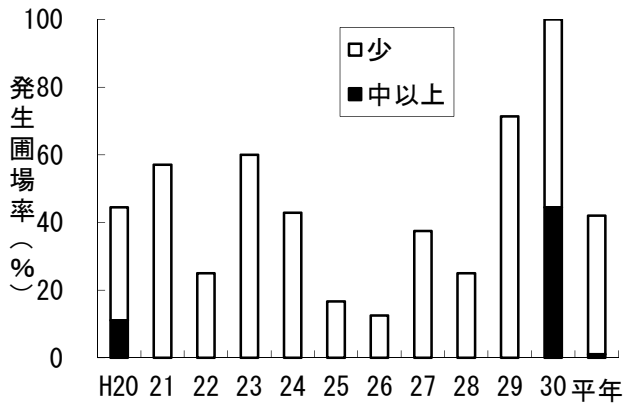


図4 ネギコガの発生圃場率の年次推移 (9月下旬)

#### 5 ネギハモグリバエ

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率、発生程度とも平年より高かった(図5)。

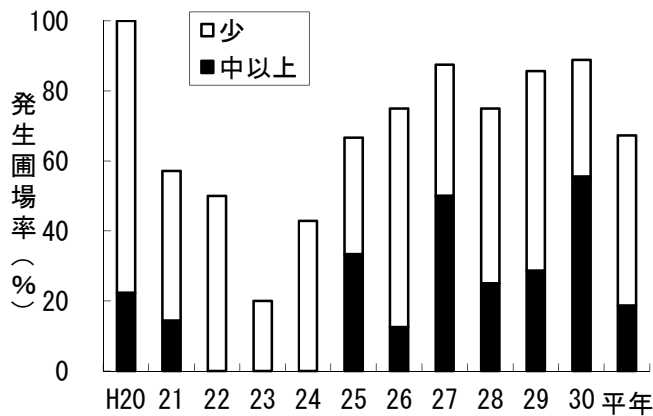


図5 ネギハモグリバエの発生圃場率の年次推移 (9月下旬)

#### 6 ネギアザミウマ

(1) 9月下旬の巡回調査では、発生圃場率は平年並であったが、発生程度は低かった(図6)。

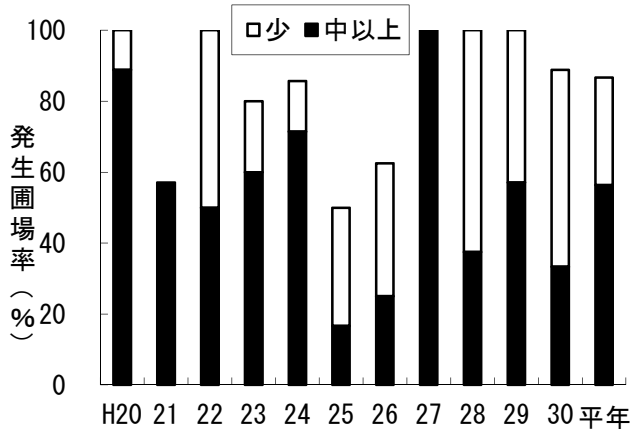


図6 ネギアザミウマの発生圃場率の年次推移 (9月下旬)

# 農作物病害虫発生現況情報（9月）りんどう編

## 1 葉枯病

- (1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より低かった（図1左）。  
 (2) 採花部での発生圃場率は平年並であった（図1右）。

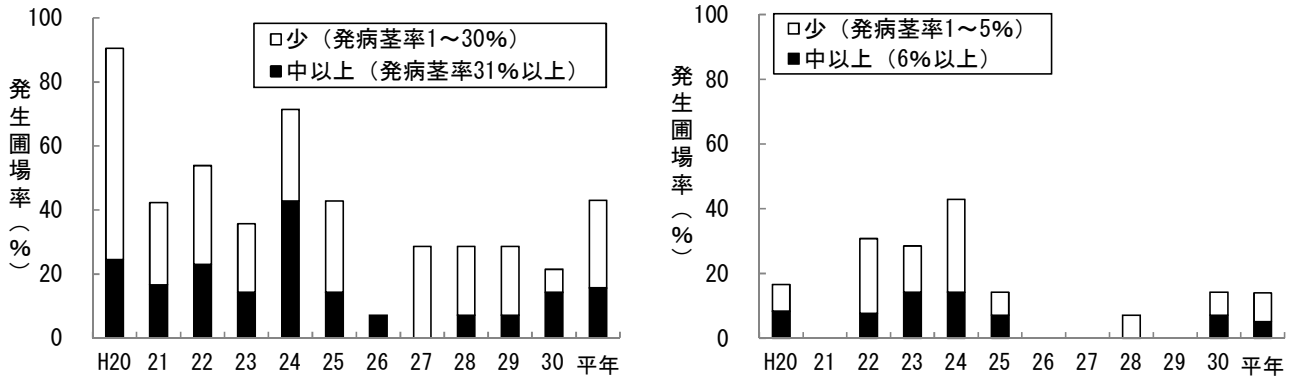


図1 葉枯病の発生圃場率の年次推移（左：発病茎率、右：採花部での発病茎率、9月中旬）

## 2 褐斑病

- (1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より高く、発生程度の高い圃場圃場も見られた（図2）。

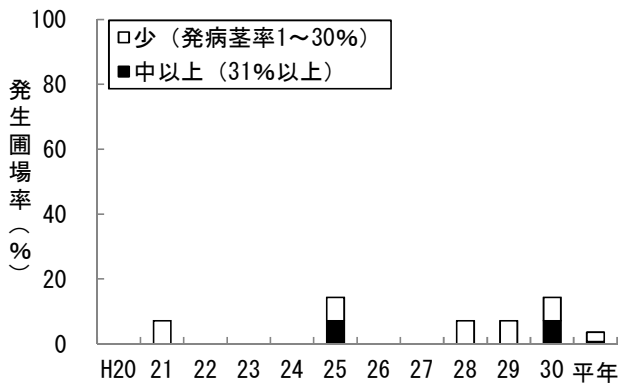


図2 褐斑病の発生圃場率の年次推移（9月中旬）

## 3 花腐菌核病

- (1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より高かった（図3）。

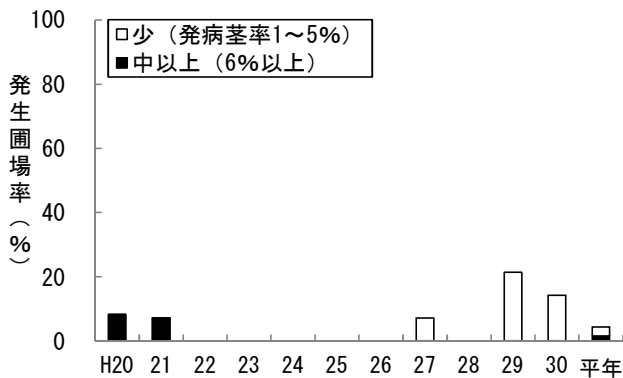


図3 花腐菌核病の発生圃場率の年次推移(9月中旬)

#### 4 ハダニ類

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より低かった(図4)。

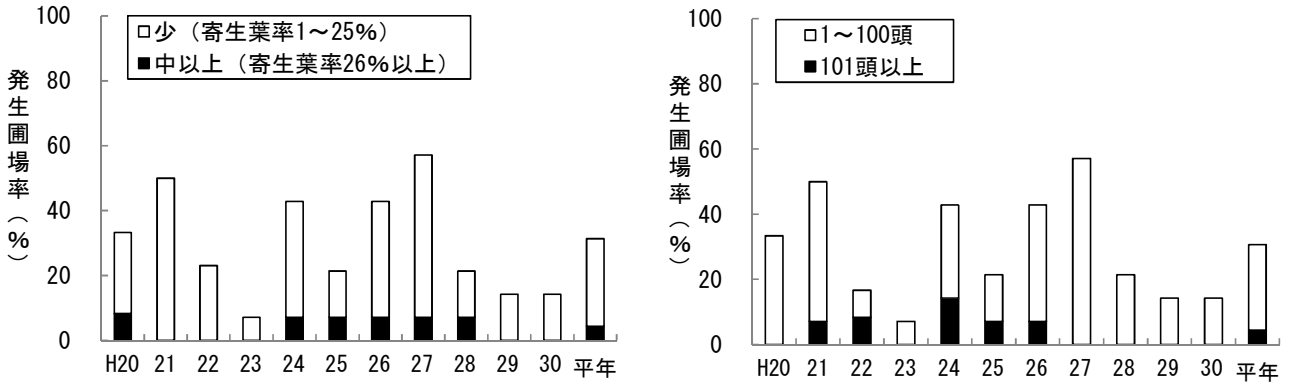


図4 ハダニ類の発生圃場率の年次推移 (左: 寄生葉率、右: 寄生虫数/80葉中、9月中旬)

#### 5 リンドウホソハマキ

(1) 9月中旬の巡回調査では、潜葉痕の発生圃場率は平年より低かったが、(図5左)、生長部および茎部の被害発生圃場率は平年より高かった(図5右)。

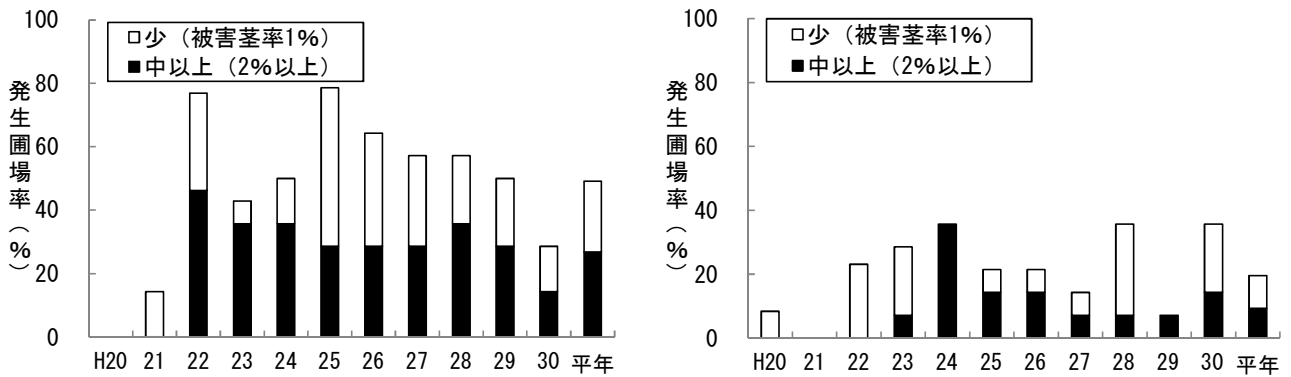


図5 リンドウホソハマキの発生圃場率の年次推移 (左: 潜葉痕、右: 生長部・茎部、9月中旬)

#### 6 アザミウマ類

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生圃場率は平年より低かった(図6)。

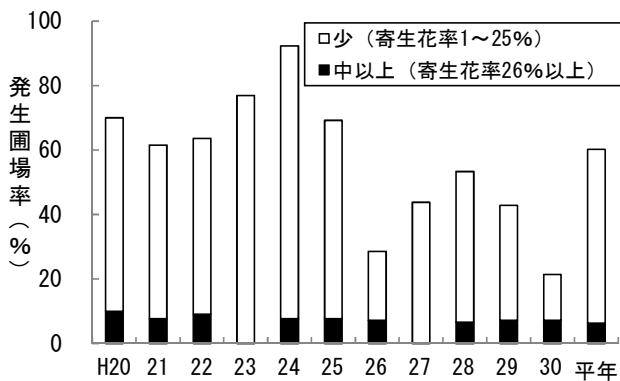


図6 アザミウマ類の発生圃場率の年次推移 (9月中旬)

#### 7 アブラムシ類

(1) 9月中旬の巡回調査では、発生は確認されなかった。